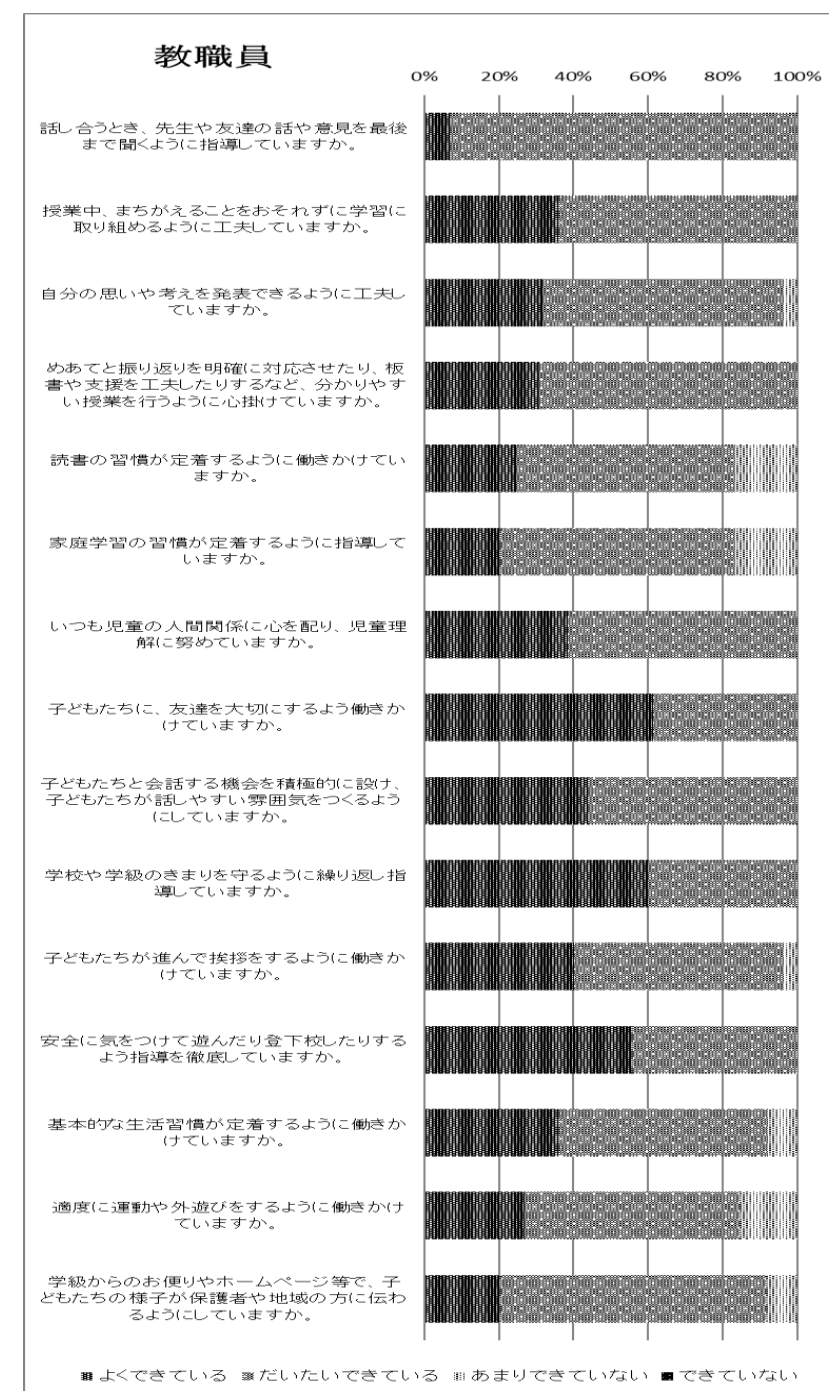
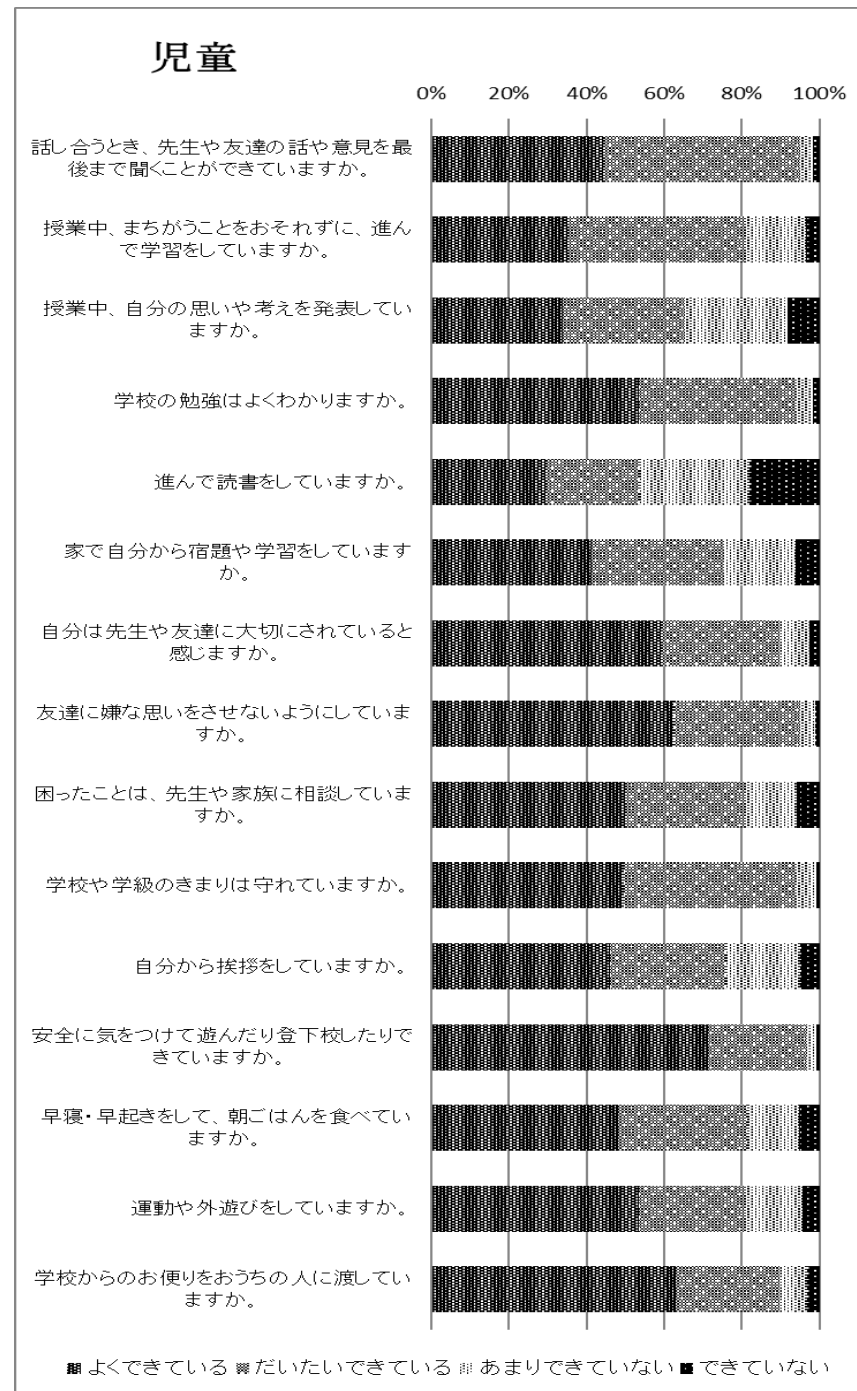
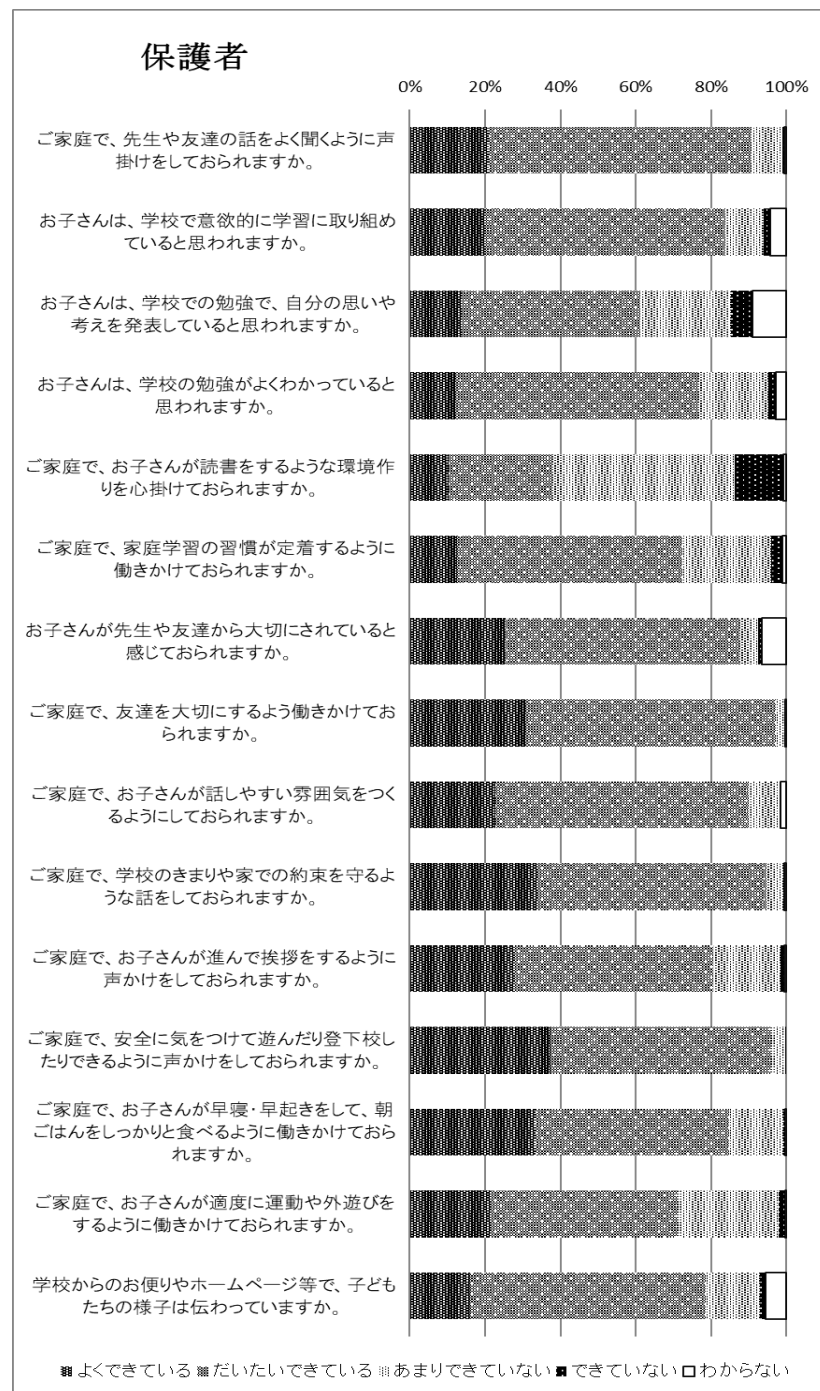


本年度後半の本校教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「令和4年度第1回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。

全体の回答の結果



考察

表面では回答の概要をご覧くださいました。

裏面では回答の集計を受け、考察を加えた項目や保護者の皆さまからいただいたご意見をお伝えいたします。児童の学年による傾向も加えてみました。(比較のレーダーグラフの値は「よくできている」「だいたいできている」を合わせた「できている群」の割合です。)



羽束師小学校 めざす子ども像



めざす学校像

◇子どもが「楽しい！」
と思える学校
「羽束師ファミリー」で
一丸となって、地域・家庭
と連携し子どもを育てる
～温かい学校、家庭、地域
でこそ良い子が育つ～

れいぎ正しく 思いやりのある子

よりよい学びを 創る子

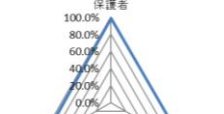
たくましく しなやかに生きる子

心がつながる にっこり あいさつ

『一人学び』と『みんな学び』

やる時はやる やればできる！
羽束師の子

授業中、話をしっかり聞く

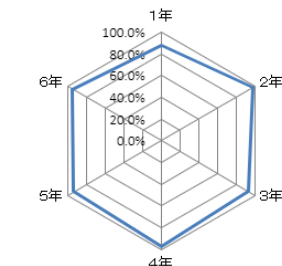


自分の思いを発表する



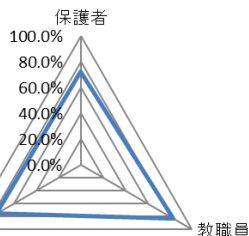
人の話を「聞くこと」は、学力に関わる大きな力の一つで、人と関わるうえで欠かせないものです。「話をしっかり聞く」項目の割合が保護者・児童・教職員全てで高いことが分かります。その一方で、自分の思いや考えを相手に伝えたり、全体の場で発表したりする割合は、児童で約65%となり、割合が低いことがわかりました。「聞くこと」はできるが、「話すこと」に苦手意識があることが伺えます。「話すこと」を通して、自分の思いを相手に伝える表現力も聞くことと同様に大切です。全ての学年が、学校教育活動のなかで、さらに表現力を育成できるように意識して日々の授業の充実に取り組んでいきます。

学校や学級のきまりは守れていますか。



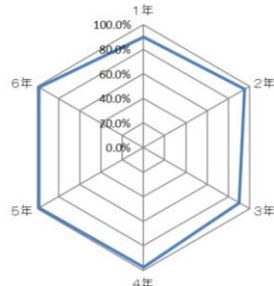
全学年の90%以上の児童が、学校や学級のきまりを守れていると感じています。学校のきまりや約束は、友達関係や学校生活をスムーズにするための大切なものです。また、社会に出た時のことを考え、規範意識を高めていくことは非常に重要であると思います。学校では、児童に一方的にきまりや約束を押し付けるのではなく、きまりや約束がある理由をしっかりと理解させながら、児童の心に届く指導をしていきたいと思っています。家庭や地域でも一緒に温かく見守っていただけると幸いです。

家庭学習



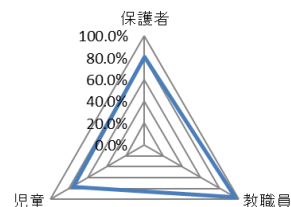
教職員の約80%が「できている」と回答しているのに対して、保護者や児童は約75%が「できている」と捉えており、教職員と児童・保護者の評価に若干意識の差が見られます。学年に応じて決まった量の宿題や自主学習を出すことで、家庭での学習の習慣化を図っています。「自学自習の学習姿勢」をしっかり身につけることは大変重要なことです。「宿題や家庭学習の定着」は低学年のうちから身につけさせていくことが大切です。また、学習時間を確保するため、「基本的な生活習慣」「時間を守る」「決めたことは守る」など学校でも粘り強く指導していきます。ご家庭でも引き続きご協力よろしくお願いいたします。

友達を大切にしていますか。



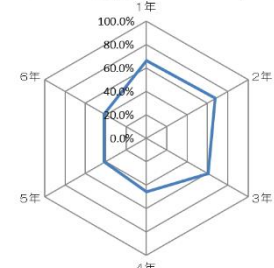
保護者・児童・教職員とも、90%以上が「できている」と回答しています。非常に高い数値でした。学校生活を送るなかで、友達の支えは不可欠です。自分が大切にされているという気持ちが高まれば、自分の周りの人たちを大切にしようという気持ちが高まってくと考えます。その信頼関係を維持しつつ、お互いを認め合い、良い関係を築いていけるようにしていきます。また、年間2回行う「いじめアンケート」「クラスマネジメントシート」を実施したり、必要に応じて教育相談をしたりすることで多面的に児童理解に努めてまいります。

進んであいさつをする



児童の約80%が進んであいさつをしていると回答しています。毎朝の登校時「おはようございます」と元気にあいさつができる児童も増えてきました。高学年の児童が率先してあいさつすることで、それにつられて低学年の児童もあいさつできるようになっています。また、児童会でも頻繁にあいさつ運動を実施し、学校全体であいさつができるよう活動をしています。あいさつは、人と人を結ぶ大切な習慣です。友達だけでなく、学校に来校された保護者の方々など誰に対しても進んであいさつができるようにしていきたいと思っています。

進んで読書をしていますか。



進んで読書をしている児童の割合は、約54%でした。学年が上がるにつれて、その割合は減少傾向にあります。読書活動を通して言語に関する知識や読解力、集中力、豊かな心が培われます。羽束師小学校でも読書活動を重要な教育活動の一つと位置づけています。「朝読書」や「目指せ100冊読書」の取組を通して、今後さらに学校図書館の活発な利用を促進し、本に親しむ機会を増やしていきたいと思っています。また、読み聞かせボランティアサークル「もたろう」の皆様や学校図書館の先生とも協働しながら、児童に読書の楽しさを味わえるような取組を進めていきます。ご家庭でも学校図書館や地域の図書館での本の貸出を積極的に活用していただくなど、児童が本にふれる機会が増えるようにご協力をお願いいたします。

地域の方よりいただいたご意見

- ・登下校の様子を見ると、高学年の班長さんが全体の歩く速さを考えて歩いているなど、優しい心が育っていると感じます。
- ・放課後、子どもたちは元気によく遊び、楽しく過ごしているなどと思っています。ただ、やはり水路で生き物とりをする子どもが気になります。地域・学校が協力し注意喚起していきたい。
- ・登下校時や運動場での明るく元気に挨拶をしてくれる様子を見て、こちらも元気をもらっています。
- ・教職員の働き方は進んでいるのでしょうか。家庭や地域の理解も大切だと思います。
- ・子どもたちのために、どのような教育環境が必要であるのか、これからも共に考え、行動していきたいと思っています。



※この他にもたくさんのご意見をいただきました。アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

お忙しい中、学校評価アンケートにて多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。紹介している内容以外でも、学校の取組に良い評価をいただいたご意見もありますが、改善すべき点をご指摘いただいたご意見もあります。いただいた全てのご意見を真摯に受け止め、さらに羽束師小学校の教育を進展させるよう、教職員一同、精一杯努力して参ります。